

地域別構想 第Ⅳ地域（小浜・美座・安倉・安倉北）

地域コンセプト：歴史と水辺空間を活かしたまちづくり

地域づくりの目標

- おおむね平坦地で武庫川左岸に位置する。
- 寺内町や宿場町として栄えた小浜地区、宝塚インターチェンジ、まとまった農地を有するほか、武庫川沿いに病院などの都市施設が立地、国道176号沿道に商業サービス事業所などが立地。
- 武庫川右岸とは宝塚新大橋と武庫川新橋で結ばれるなど、交通上も本市の要衝の地。

＜地域づくりの方向＞

（ア）多様な交流と活力にあふれる武庫川沿いのまち

- 交流活動の場の充実や強化、健康・福祉・医療施設とその環境の整備など、広域から人々が集う総合的な都市機能の集積を図り、生活にうおいと活力を生む地域づくりをめざします。

（イ）歴史とふれあえるまち

- 歴史街道が交差し、寺内町、宿場町として栄えた小浜地区を有していることから、歴史的な景観を維持し、市民と協働で、緑と水、歴史にふれあえる地域づくりをめざします。

（ウ）快適な都市生活を育むまち

- 溜池や生産緑地を保持する平坦部地域では、市街地形成の誘導や市街地基盤整備を進めつつ、市民活動の拠点施設の利活用を促進し、快適な都市生活を育む地域づくりをめざします。

地域の土地利用の方針

①住宅地

（ア）低層住宅地区

- 良好な住環境の維持・増進
- 生活支援機能をもつ施設などの誘導
- 荒神川や大堀川の河川改修の推進

（イ）中低層・中高層住宅地区

- 各地区の特性に応じた道路網や街並み整備
- 緑豊かな住環境の保全

（ウ）幹線沿道型住宅地区（沿道地区）

- 沿道の土地利用や後背の住宅地環境、沿道の景観などに配慮した開発や整備の誘導

②商業地

（ア）中心市街地

- 宝塚ファミリーランド跡地の土地利用の動向注視

（イ）幹線沿道型商業地区

- 自動車利用に対応した商業施設などの誘導
- 一定規模以上の大規模な集客施設の立地抑制

③複合地

（ア）複合利用地区（複合利用ゾーン）

- 総合福祉センターなど多様な公共施設の機能拡充
- 市民の交流拠点にふさわしい環境の創出
- 土地利用動向の注視と適切な土地利用の誘導

（イ）ゲートウェイゾーン

- 幹線沿道型の店舗や流通型産業などの土地利用の適切な誘導と環境整備

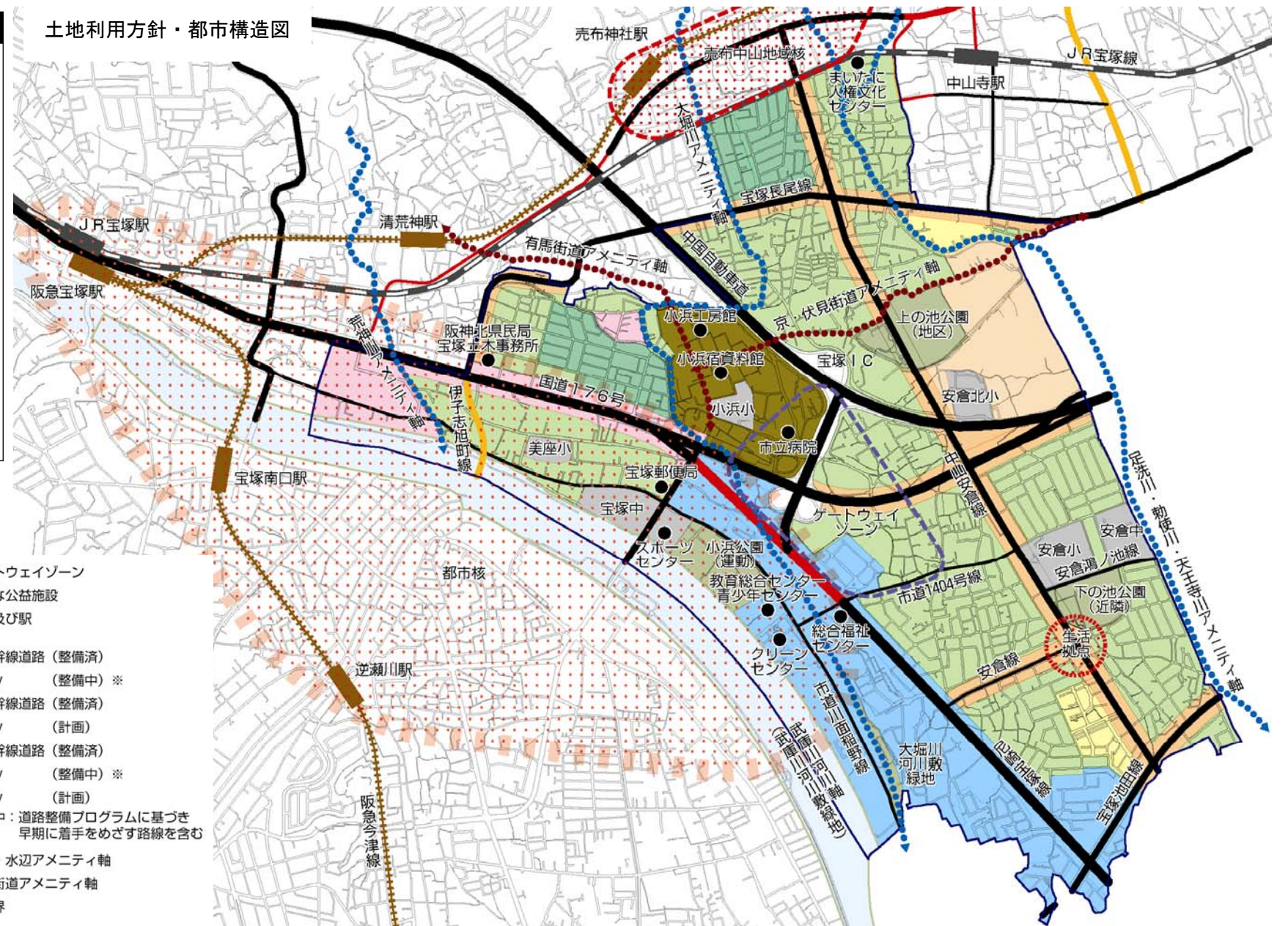
（ウ）歴史景観地区（歴史景観ゾーン）

- 歴史的な街並みの保全

（エ）農住地区（農住ゾーン）

- 伝統的地場産業である花卉・植木産業の振興
- 貴重な自然空間として積極的に保全
- 新たな集客ゾーンとして多様な農地活用の促進

土地利用方針・都市構造図



地域を支える都市拠点とネットワーク

①都市拠点の整備・充実

- 都市核：宝塚南口駅、逆瀬川駅から市役所周辺、武庫川対岸のJR・阪急宝塚駅、スポーツセンターなどを含む中心市街地
- 生活拠点：安倉周辺 など

②交通ネットワーク

（ア）道路

- 主要幹線道路：国道176号、尼崎宝塚線（早期の事業完了をめざす）
- 都市幹線道路：宝塚長尾線、中山安倉線、安倉線、宝塚池田線、伊子志旭町線
- 補助幹線道路：安倉鴻ノ池線、市道川面稲野線、市道1404号線 など
- 武庫川の新たな橋梁や小浜交差点の整備などについて検討
- 生活道路整備条例などに基づく、狭あいな道路の拡幅整備を推進

（イ）歩行者ネットワーク

- 安全の確保及びバリアフリー化の推進
- 歩行者及び自転車の視点でネットワーク化を検討、構築
- 総合福祉センター周辺は福祉の拠点として、高齢者や障がい者などの快適な通行動線を確認するようきめ細かな配慮のもとに整備を推進

（ウ）バス

- 宝塚市地域公共交通総合連携計画の推進

③水と緑のネットワーク

（ア）水と緑の拠点

- 緑の基本計画などに基づく公園・緑地の整備推進
- 魅力ある水辺空間の保全と整備を図り、地域の拠点となる公園緑地として活用

（イ）水と緑のアメニティ軸

- 河川・水辺アメニティ軸：大堀川などの小河川や水路、上の池などの溜池 など
- ・道路や堤防の景観整備
- ・周辺歩道の整備（歩行者ネットワーク）
- ・周辺緑地の整備
- ・防災機能の確保とあわせた水辺空間の整備

（ウ）歴史と文化のアメニティ軸

- 歴史街道アメニティ軸：有馬街道、京・伏見街道
- ・歴史街道のなごりを残す仕組みの検討
- ・沿道の歴史資源の保全など、快適な景観の創出
- ・広がりのある緑と水辺を活かした潤いのある景観の創出
- ・地域の活性化に資する道路や水辺空間の活用を検討